

日本比較内分泌学会「創立30年」によせて

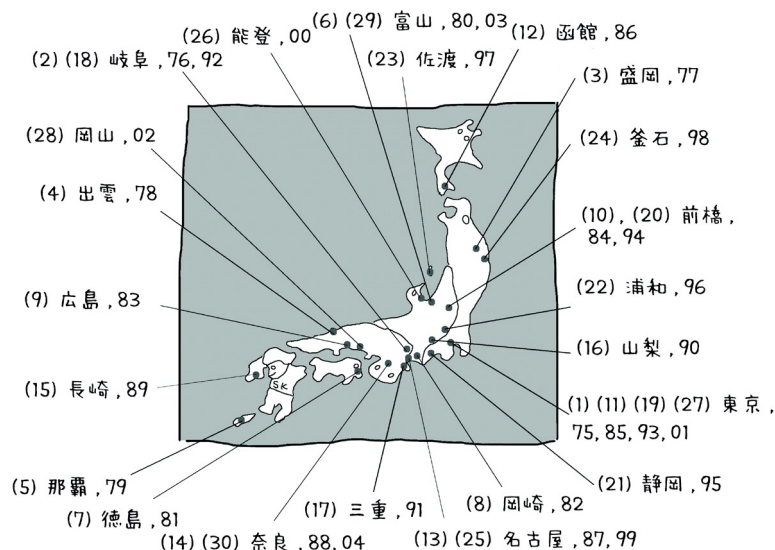
会長 菊 山 榮 (早稲田大・教育・生物)

学会員の方から「学会創立25周年記念の企画をしなかったのか」と問われたのは、2000年の能登での大会のときでした。私はその年に平野哲也前会長から職を引き継いだばかりでしたが、記念の催しなり、事業を行うためには1～2年程度の準備期間が必要です。それ以来、数の問題(何周年の記念の行事をすればよいか)が頭から離れなくなりました。

「28」という数字が、まず頭をよぎりました。28はその約数(1、2、4、7、14)の和が28になるという稀な数で完全数とよばれるらしいです。しかし、数学(?)関連の学会でもないのに、幹事会でも認められそうにありません。第一、これに決めると、次の完全数(496)の年になるまでかなり間があいてしまいます。次いで浮上したのは30です。29、31という続きの奇数で、かつ素数、すなわち双子素数には含まれた数である30は切り

も良い数字です。30「周年」となりますと、2005年にあたります。

しかし、その一年前の2004年に奈良でアジア・オセアニア比較内分泌学会議が開催されるというニュースがもたらされました。これを日本比較内分泌学会は共催というかたちで大会も同時に行うことが決定しました。こうなると、2004年に創立記念の催しを計画すれば、アジア・オセアニアの研究者も集まるし、彼らにもアジア・オセアニア比較内分泌学会よりも12年も早く創立された日本比較内分泌学会を強く印象づけることにもなると思いました。このような次第で正確には、「創立29周年にして創立30年目」の記念の式を大会初日に行うことになったわけです。そのセレモニーのハイライトは川島誠一郎第3代会長による古い(なつかしい)写真が続々登場する学会の歴史についての講演とH.A.



大会(含設立総会)開催地を示す地図

Bern名誉会員による祝辞でした。当日のメイン会場のステージは能舞台で、舞台の保護のため靴を脱がねばなりませんでしたが、まわりは芝生と木立に囲まれていて、瓜畑はなかったのが幸いでした。

最後に、過去29年にわたり本学会を支えてきて下さった歴代会員のみなさまに対して深く敬意を表したいと思います。また、現会員のみなさまには本学会をますます発展させ

ていって下さるようお願い申し上げます。

これまでの活動の一端を偲ぶよすがとして、大会(含む設立総会)の行われた場所を「日本列島動物キメラ地図」に記入したものを本文に添えます。この地図は1997年に川島誠一郎会長(当時)が開催委員長となって横浜で行われた国際比較内分泌学会議の際のプログラムの表紙からの転用です。

日本比較内分泌学会設立30周年によせて

初代会長 小林英司
第2代会長 石居進

1. はじめに

本学会が数え年30周年を迎えたことは、御同慶の至りであります。想えば外国人約70名、日本人約80名が参加した第3回国際比較内分泌学会議(1961年・大磯・議長 竹脇潔教授・図1)の成功は、単に科学的知識の交換のみならず、外国人との共同研究の始まり、若い研究者の留学など種々の面で新しいことを生み出した。当時、日本では国際学会は珍しく、他の学会をも刺激した。このような熱した背景の下に、日本比較内分泌学会を設立してはという要望が起こり、翌年、石居進、日高敏隆、江上信雄の諸氏が竹脇教授に設立についてご意見を伺い賛同を得た。しかし、諸事、時期尚早で、すぐには旗上げには到らなかった。その後、下記の経過のように設立に動いていった。この設立の一番のmotive forceであったのは石居氏で、用意周到で、各方面に礼をつくして設立された。以下に石居氏の筆になる「学会設立までの経過」(日本比較内分泌学会ニュースNo.1, 1975年10月)を許可を得て再録させていただいたが、当時に思いを馳せて、今後を考えていただく糧になれば幸いである。

2. 学会設立までの経過

(1975年10月ニュースNo.1に石居記)

1961年6月に、神奈川県大磯において第3回国際比較内分泌学シンポジウムが竹脇潔博士を議長として開催された。その際、日本にも比較内分泌学会を設立してはどうかという意見が多く研究者から出されたが、実現には到らなかった。

しかし、内外の趨勢から、日本においても系統発生的視野から分子生物学的視野までも含むような、広い視野に立った比較内分泌の発展を要望する声が一層高くなってきた。現状では、このような分野の研究者はその所属が理・医・薬・農学など多方面にわたり、相互の連絡が必ずしも十分ではない。ここに相互の連絡を密にし、情報の交換、研究の協力をよりよく行われるよう推進する母体としての比較内分泌学会を設立したいという多くの人々の要望を背景に、1975年1月19日、青戸偕爾、石居進、井上栄、岩澤久彰、内田清一郎、小川瑞穂、小黒千足、大滝哲也、大西英爾、加藤勝、金谷晴夫、川島誠一郎、鈴木善祐、曾我部博文、田名部雄一、玉置文一、日高敏隆、日比谷京、平野哲也、藤田尚男、見上晋一、森田之大、山本喜一郎、山本芳弘、